

## 平成22年度技術部研修会

### 研修企画実施委員会

工学部技術部職員を対象とした、3回目となる技術部主催「技術研修会」が、松岡キャンパス総務室研究支援係及びライフサイエンス支援センター技術職員の皆様のご協力を得て9月8日（水）福井大学松岡キャンパス研究棟3階大会議室他で開催された。

今回の「技術研修会」には27名の技術職員が参加しました。また、「技術研修会」が松岡キャンパスで行われたため、移動手段としてマイクロバスが使用された。朝9時20分に参加者全員が総合棟前に集合し松岡キャンパスへ向かった。

午前の部として、10時10分から、生命科学複合研究教育センター長 佐藤真教授の特別講演が「細胞と分子の織りなす知能発達 一脳の形成・発達研究でわかったこと一」と題しておこなわれた。

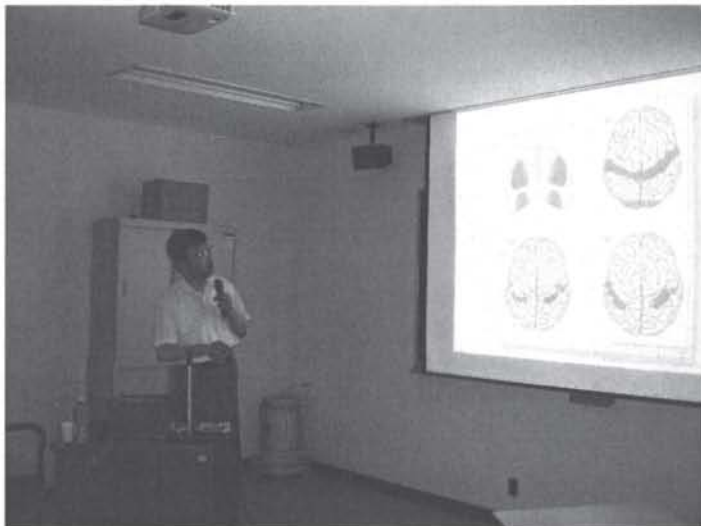
先生は当日出張にも拘らず、私達に2時間近くにも及ぶ特別講演を行ってくれました。また、私達に分かり易いテーマを選んで話をしてくれました。その中でも、不眠症の私が特に興味を引いたのは、non-REM睡眠・REM睡眠の話でした。REM睡眠で脳のどこが活性化されているか、明け方はREM睡眠が優位になるなど等の話でした。

先生は他にも、“情動の科学的解明と教育等への応用に関する検討会”の話の中で、

- ① 子供の心の健全な発達の為には基本的生活リズムの獲得や食育が重要であること。
- ② 子供が安定した自己を形成するには、他者の存在が重要であり、特に保護者の役割が重要であること。

③ 情動は、生まれてから5歳位までにその原型が形成されると考えられるため、子供の情動の健全な発達のためには乳幼児教育が重要である・・・と言う話をしてくれました。

最後に、先生から私達に、献体してくれた人間の脳を見せて頂くことが出来ました。献体してくれた人に黙禱をし、それから脳を実際に触らせて頂きました。私は脳に触ることが出来ませんでしたが、触った人の話によれば、自分が思ったよりは重かったそうです。図解で示したものよりも

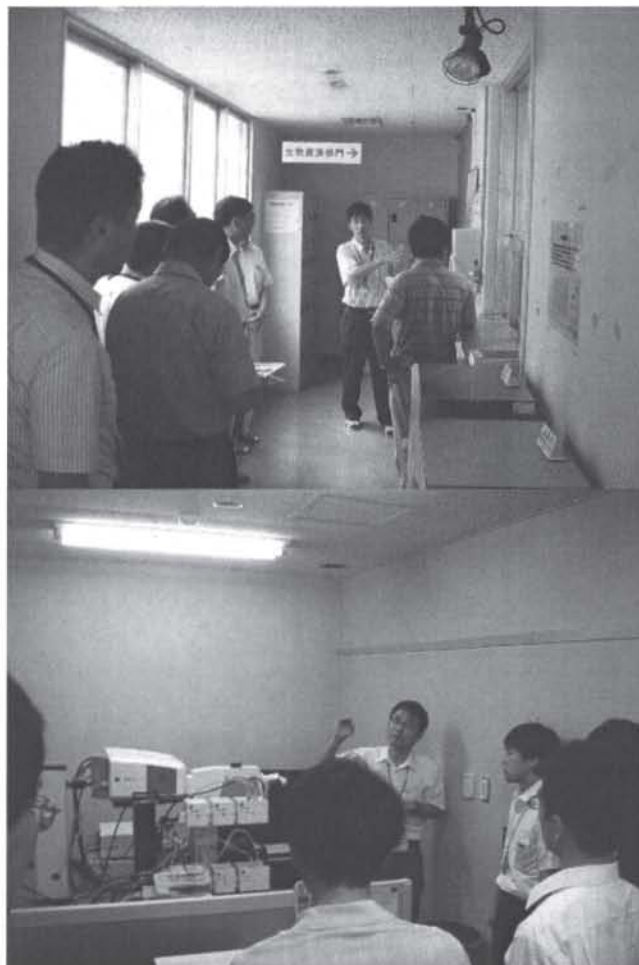


リアルで、この分野の研究が進んでいることを知ることが出来ました。この後、昼食休憩に入り、午後から、ライフサイエンス支援センターを見学させて頂きました。最初に、ライフサイエンス支援センターの技術職員の方から入室する際の注意事項の説明を受け、私達は、3グループに分かれて各施設を見学して回りました。

中村修二先生が発明した青色発光ダイオードがマウスのがん細胞に組み込まれ医学に応用されているのを実際に見学することが出来ました。

ライフサイエンス支援センターの技術職員の皆様の配慮を頂き、各実験室で高額な実験装置を見学し、説明を受けることが出来ました。

この研修に関わって頂いた医学部の皆様に心から感謝しお礼を申し上げます。



(研修日程表)

時 間	研 修 内 容 等	講 師 等
9:20	総合棟前集合	
10:00~10:05	研修会開会	
10:05~10:15	技術部長挨拶	技術部長 鈴木敏男
10:15~11:45	特別講演 「細胞と分子の織りなす知能発達一脳の形成・発達研究でわかったこと」	生命科学複合研究教育センター長 佐藤真教授
11:45~11:55	質疑応答	
12:00~12:55	昼食・休憩	
13:00~13:30	施設の紹介	ライフサイエンス支援センター 学術支援係長：山越一則氏
13:30~14:55	施設見学（3グループに分かれて）	ライフサイエンス支援センター 技術職員の方々
15:00	大会議室集合	
15:30	文京キャンパス着	